



TED Azure OpenAI 構築サービスのご紹介

東京エレクトロン デバイス株式会社
システムエンジニアリング部
二反田 知弥

- 1. Azure OpenAIとは**
- 2. TED Azure OpenAI構築サービス**
- 3. Azure OpenAI デモンストレーション**



1 .Azure OpenAIとは

Azure OpenAI Serviceの概要

AzureはOpenAIのモデルを展開する唯一のパブリッククラウドサービスです。

APIでOpenAIの推論機能を提供

エンドポイントへのリクエストを投げるだけで推論結果が得られます。
AIを動作させるインフラを新たに準備・開発する必要はありません。
API仕様やライブラリも基本は共通。
(REST API, Python SDKから呼び出しが可能。)

SLAを既定した提供

99.9%以上の稼働率を保証するSLAを既定しています。
(他の Azure AI Searchと同水準)

Azureのセキュリティ機能が統合

Azure Entra IDと連携した認証、プライベートネットワークでの利用、データの暗号化、コンテンツフィルタリングなど、企業がAIを使うリスクを軽減するセキュリティをカバーします。

Responsible AIの原則に基づく提供

MicrosoftがAIを使う上でのリスクを配慮した原則に基づきサービス展開をしており、AI活用サービスで発生するリスクを軽減することができます。

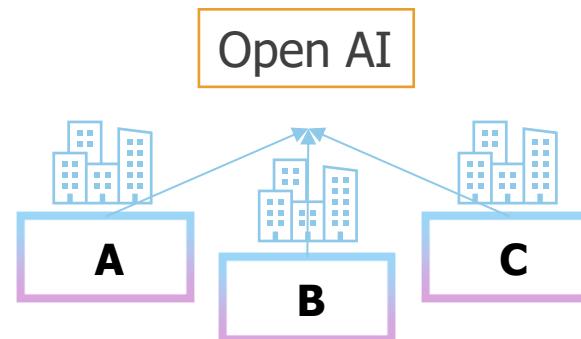
[責任ある（Responsible AI） AIとは? - Azure Machine Learning | Microsoft Learn](#)

OpenAIとAzure OpenAIの違い

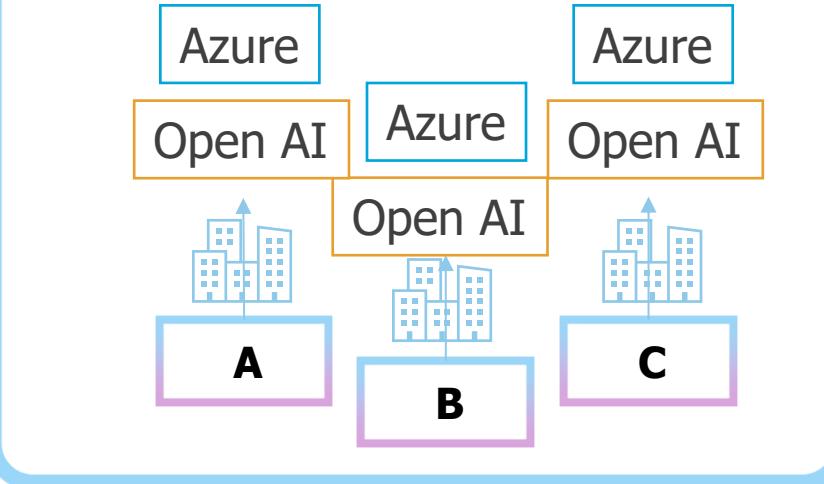


提供元
利用形態
利用方法
ネットワーク

OpenAI
OpenAI社
SaaS
OpenAIのWeb / API
インターネット網



Azure OpenAI Service
Microsoft
利用テナントにデプロイ
自社契約Azure内のAPI
インターネット網
閉域網

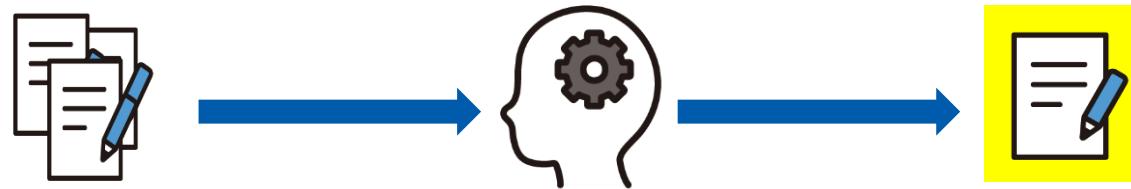


生成AIとは？

生成AIとは？

生成AI(Generative AI)とは、ユーザーから入力された情報に応じて、テキスト・画像・音楽・映像などのコンテンツを生成することができる人口知能（AI）です。

データ・ルールの学習は不要



学習済みのデータを活用してオリジナルのデータを生成

生成AIの種類

生成AIには、「テキスト生成」「画像生成」「動画生成」「音声生成」など、いくつかの種類があります。

テキスト生成

質問や指示入力で、自動的に回答を生成

例：ChatGPT, Azure OpenAI GPT3.5, GPT4モデル

画像生成

テキストによる指示で、オリジナル画像を生成

例：DALL-E2

音声生成

音声・テキスト入力で新たな音声を生成

例：Azure AI services

動画生成

テキストによる指示で、短い動画を生成

例：Runway AI

千葉県 全庁 生成AIアンケート抜粋

業務の効率化と県民サービスの向上が期待できることから、生成AIを全庁で利用中

調査対象：全職員、実施期間：令和5年8月9日～8月31日、回答数：424、生成AI:ChatGPT、Bing、Bard

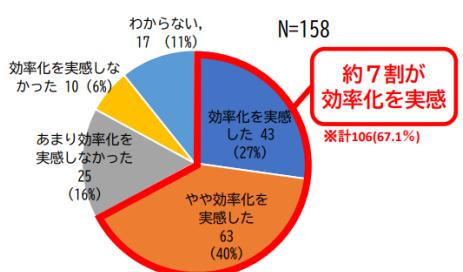
業務効率化の実感と活用事例の状況

○利用者の約7割は業務効率化を実感した

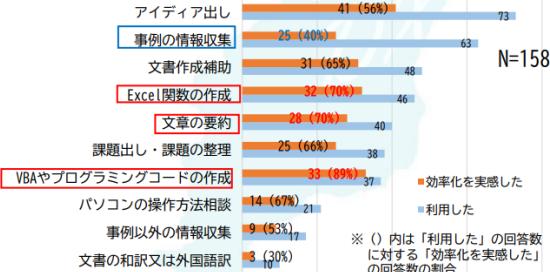
○利用された業務に対し、業務効率化の実感率が高かった業務は
VBAやプログラミングコードの作成(約9割)、Excel関数の作成(約7割)、文章の要約(約7割)であった

○一方、業務効率化の実感率が低調だった業務は、事例の情報収集(約4割)であった

Q. 生成AIの利用により、業務が効率化された実感はありましたか？※利用した職員（158名）のみに質問



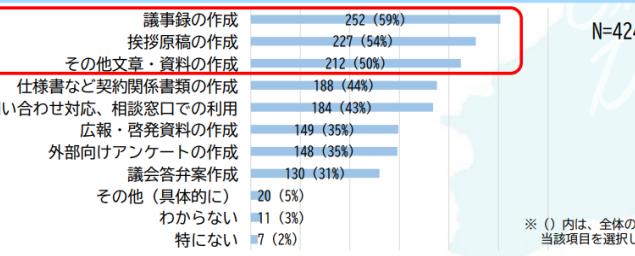
○「利用業務」と「利用で効率化を実感した業務」の比較
※利用した職員（158名）のみに質問（複数回答）



今後、利用範囲が拡大した際に利用したい業務

○今後、利用範囲が拡大した場合には、様々な業務で生成AIを利用したいとの意見があり、中でも回答が多かったのは、「議事録の作成」「挨拶原稿の作成」「その他文章・資料の作成」

○今後、利用の範囲を拡大した場合、生成AIの技術を利用したい業務を選択してください。
(複数回答) ※全員（424名）に質問

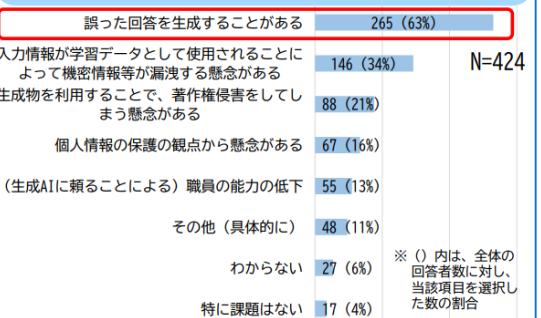


業務利用にあたっての課題

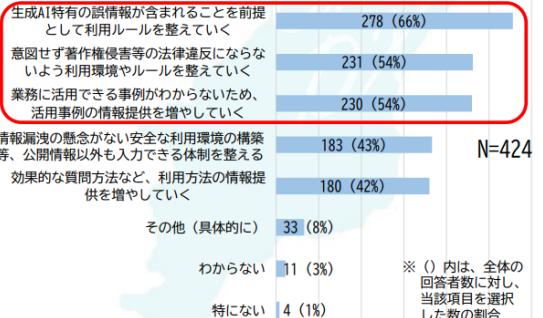
○生成AIの業務利用における課題として最も多かったのは「誤った回答を生成することがある」

○今後利用範囲を拡大するために必要なこととして最も多かったのは「生成AI特有の誤情報が含まれていることを前提として利用ルールを整えていくこと」であり、回答者の6割以上が必要を感じている

○生成AIを実際に業務に利用する場合、特に課題として感じているもの（複数回答）※全員（424名）に質問

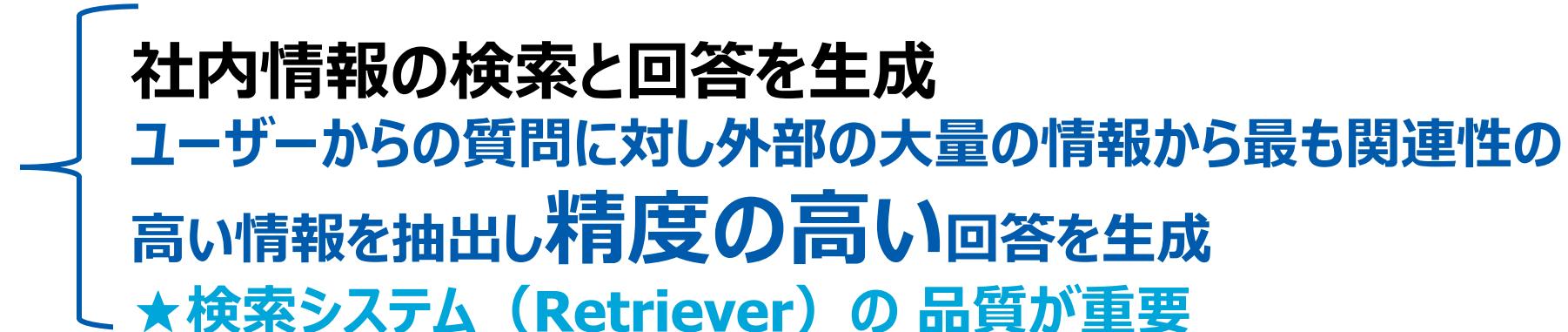
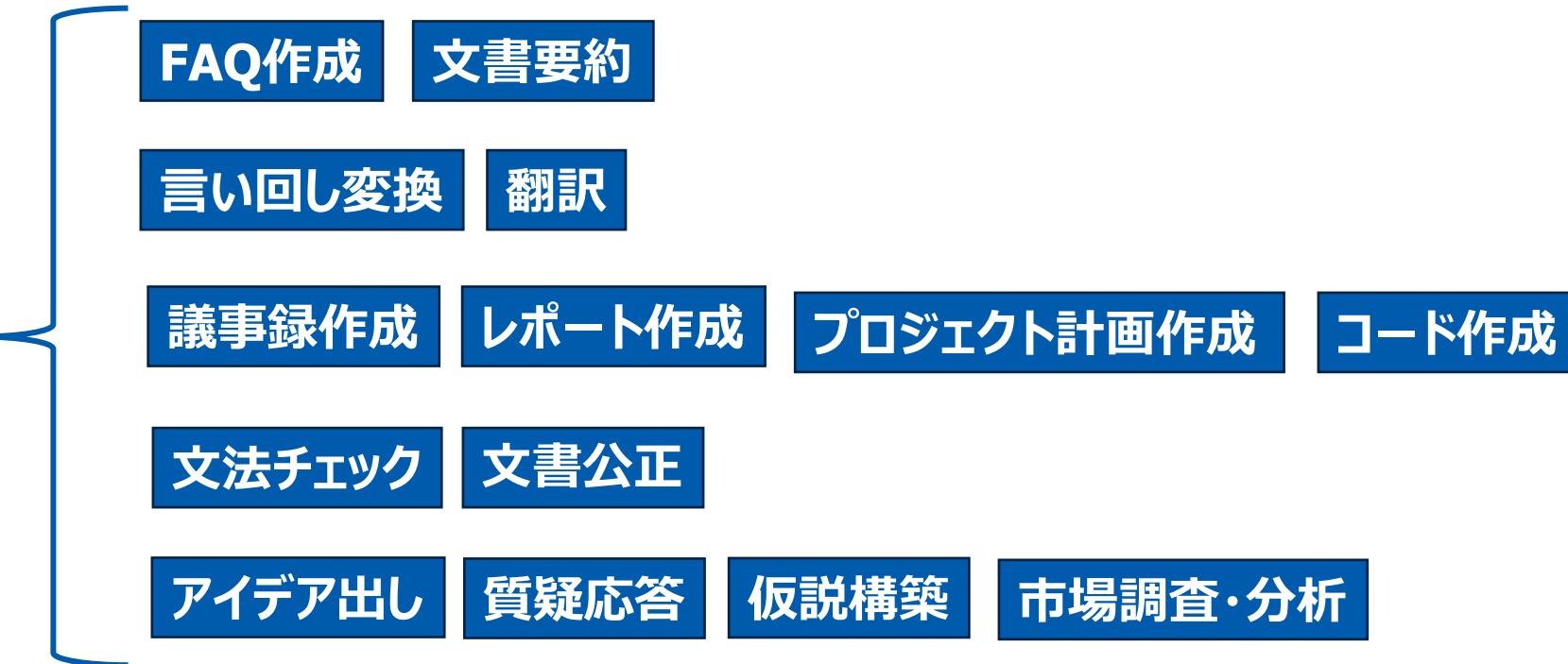


○生成AIの業務利用の範囲を拡大していくに当たり、どのようなことが必要と考えるか（複数回答）※全員（424名）に質問





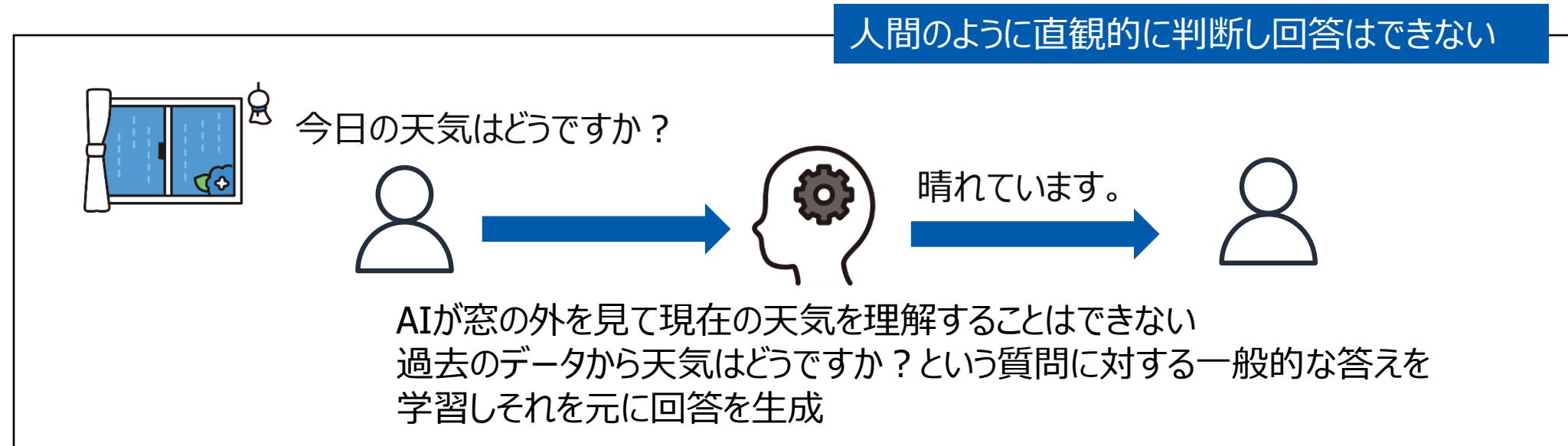
文書検索エンジン



社内情報の検索と回答を生成
ユーザーからの質問に対し外部の大量の情報から最も関連性の
高い情報を抽出し精度の高い回答を生成
★検索システム (Retriever) の品質が重要

・人間のような思考や数学や算数の答えのような論理的思考を有するもの

テキスト生成AIは過去のデータからパターンを学習し、その学習したパターンに基づいて新しいテキストを生成します。そのため、生成AIは新しい情報を理解したり、論理的な推論を行ったりする能力は限定的です。



・新しい情報（鮮度）への対応

- ※GPT3.5Turbo（学習データ2021年9月）
- ※GPT4（学習データ2023年4月）



2. TED Azure OpenAI構築サービス

社内データが全て管理されておらず、正しいデータにたどり着けない、参考にしたいデータの検索に時間がかかる、発見したデータの利活用までのハードルが高いといった課題が山積しています。

● 課題 1：参考にしたい正しいデータに検索でたどり着けない

● 問題点

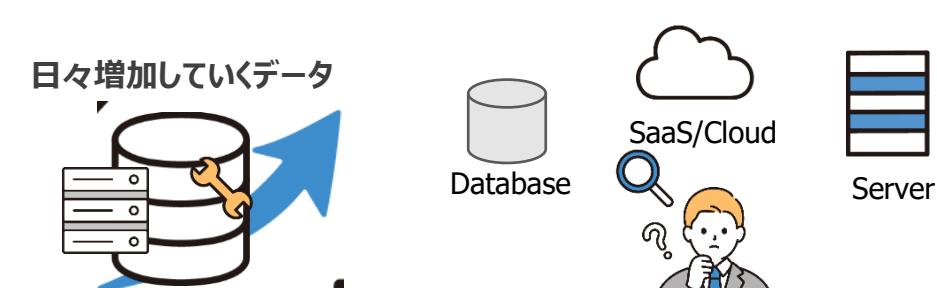
- 個人のPCに眠るデータ（属人管理）
- 検索条件が分からない



● 課題 2：参考にしたいデータの検索に時間がかかる

● 問題点

- データ量
- データフォーマット
- 配置場所(管理方式がバラバラ)



● 課題 3：検索したデータの利活用までのハードルが高い

● 問題点

- 入力した検索キーワードで検索はヒットするものの、有効性は別途判断する必要がある
- 入力情報理解と要約抽出



AI活用でのソリューション

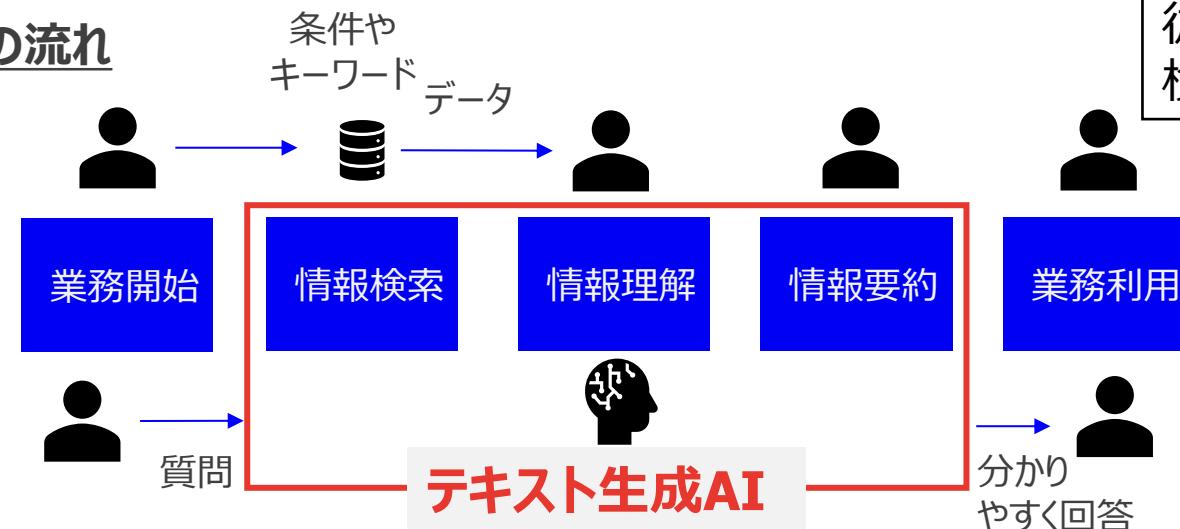
課題に対する解決策：参考文献や過去事例を基に業務を行う従来の検索と、生成AIアプローチの違い

情報の整理と利用までの流れ

現状
検索

パラダイムシフト
(転換)

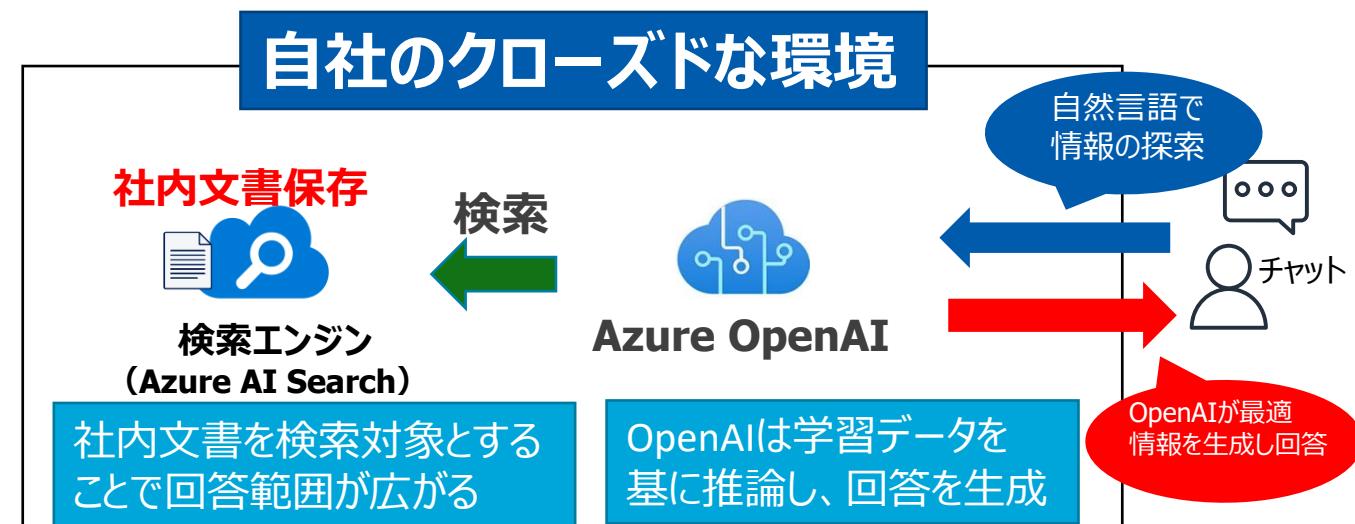
生成AI



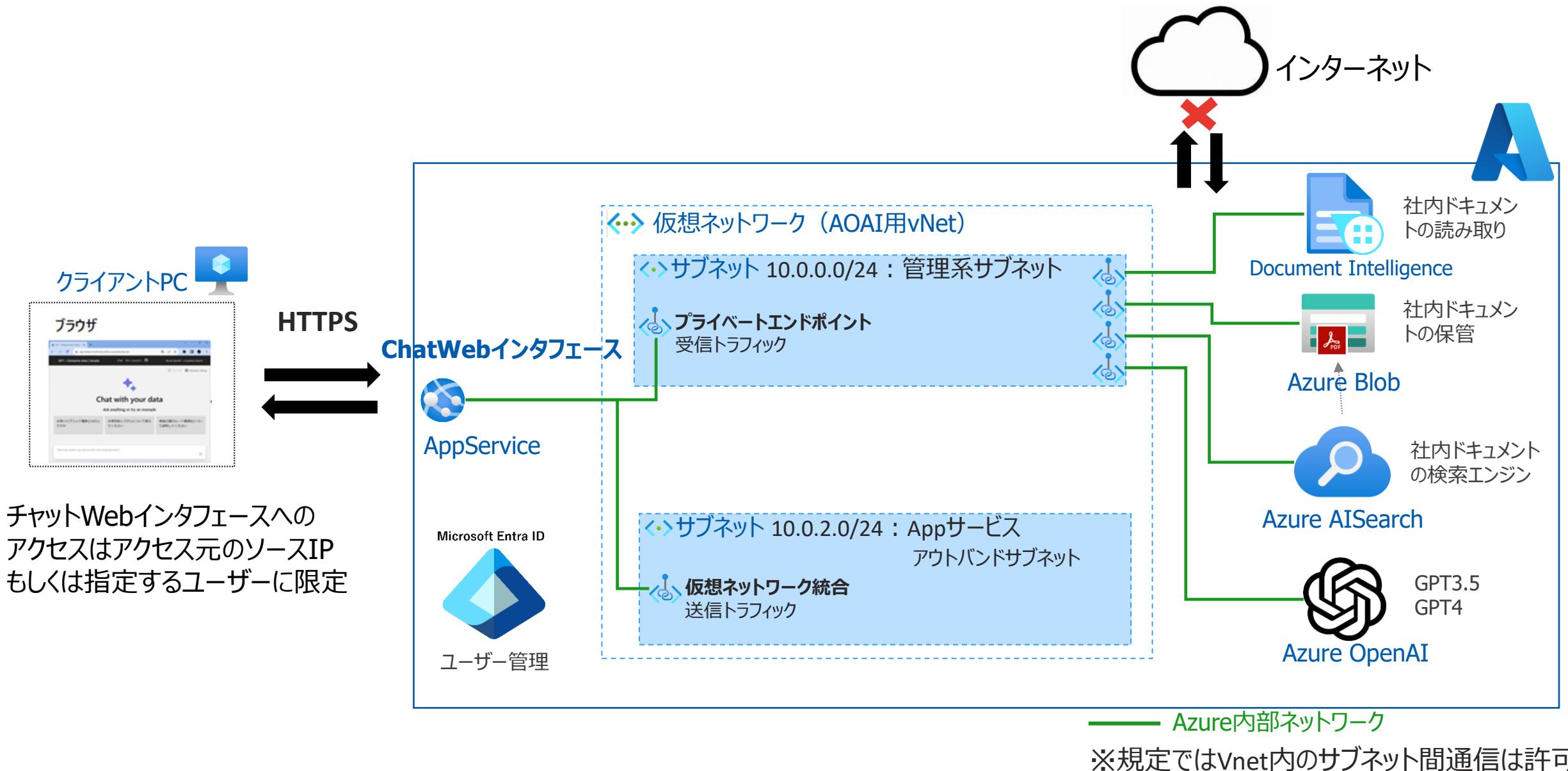
従来のようなキーワード検索では
検索に時間がかかる

生成AIを
Azure OpenAIで実現

学習した知識や社内文書から情報を検索し
自然な言葉で回答を提供することができる
必要な情報を素早く、効率的に見つけることで
生産性が向上



自社Azureテナント上にAzure OpenAI PoC環境を構築



使い方例. 社内文書を生成AIで検索

チャットによる質問への回答

6ヶ月以上勤務した場合の有給休暇の日数は何日だったか？

ファイルは見つかったが90ページ以上ある。。



モデル就業規則において6ヶ月以上勤務した場合の有給休暇の日数は？

質問を入力

モデル就業規則によると、採用日から6ヶ月間継続勤務し、所定労働日の8割以上出勤した労働者に対しては、10日の年次有給休暇が与えられます。その後、1年間継続勤務するごとに、勤続期間に応じた日数の年次有給休暇が与えられます。以下は勤続期間に応じた年次有給休暇の付与日数の一覧です。

- 勤続期間: 6ヶ月 → 付与日数: 10日
- 勤続期間: 1年6ヶ月 → 付与日数: 11日
- 勤続期間: 2年6ヶ月 → 付与日数: 12日
- 勤続期間: 3年6ヶ月 → 付与日数: 14日
- 勤続期間: 4年6ヶ月 → 付与日数: 16日
- 勤続期間: 5年6ヶ月 → 付与日数: 18日
- 勤続期間: 6年6ヶ月以上 → 付与日数: 20日

ただし、週の所定労働時間が30時間未満であり、週の所定労働日数が4日以下または年間の所定労働日数が216日以下の場合は、所定労働日数および勤続期間に応じた日数の年次有給休暇が与えられます^①。

引用: 1. モデル就業規則-36.pdf

Azure OpenAIが社内文書（就業規則）から検索し自然な言葉で回答

第5章 休暇等

年次有給休暇等法定の休暇のみならず、会社で設けている休暇については就業規則に必ず定めることが必要です。

(年次有給休暇)

第23条 採用日から6ヶ月間継続勤務し、所定労働日の8割以上出勤した労働者に対しては、10日の年次有給休暇を与える。その後1年間継続勤務するごとに、当該1年間において所定労働日の8割以上出勤した労働者に対しては、下の表のとおり勤続期間に応じた日数の年次有給休暇を与える。

勤続期間	6ヶ月	1年	2年	3年	4年	5年	6年
付与日数	10日	11日	12日	14日	16日	18日	20日

2 前項の規定にかかわらず、週所定労働時間30時間未満であり、かつ、週所定労働日数が4日以下（週以外の期間によって所定労働日数を定める労働者については年間所定労働日数が216日以下）の労働者に対しては、下の表のとおり所定労働日数及び勤続期間に応じた日数の年次有給休暇を与える。

※ファイルは厚生労働省労働基準局監督課から公開されているモデル就業規則を利用しています

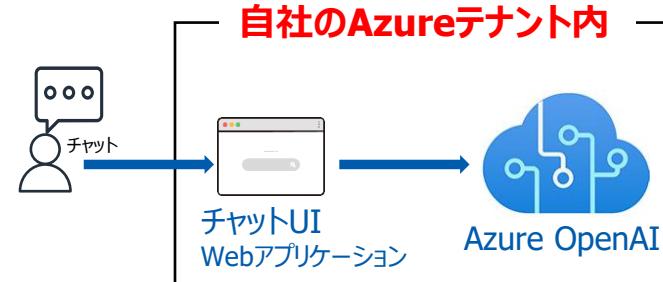
補足：Azure OpenAI + 自社文書検索によるユースケース



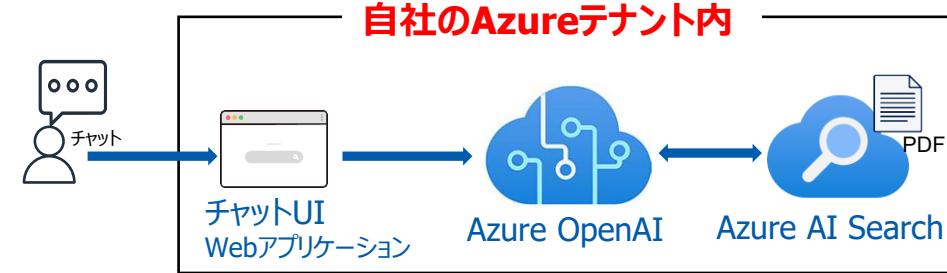
生成AIによる自然な言語の対話でユーザーを支援

社内ナレッジなどの情報源と接続し回答範囲を拡大

自社専用 対話型 Azure OpenAI



自社専用 自社文書対話型 Azure OpenAI



■ リサーチと学習

特定のトピックについての知識を深めたい際にAzure OpenAIに質問を投げかけことで関連する情報を得ることができます。自己学習や新たな視点やアイデアを得ることにも役立ちます。

■ 意思決定の支援・仮説構築

Azure OpenAIに対して状況や選択肢を説明し、可能な結果についての情報を求めることができます。これはビジネスの戦略決定や個人的な選択の際に役立ちます。

■ 文書の作成、議事録の作成

Azure OpenAIに対して状況や要望を説明し、文書の作成や会議のメモから議事録の作成ができます。

■ 社内文書からの知識の探求、要約

過去のドキュメントや手書き文書など特定の情報をチャット形式で素早く検索や文書の要約ができます。

■ 顧客サポート

チャット形式で過去の類似ケースや解決策を検索できるので、迅速な対応を可能にします。

■ 研究と開発

新しいアイデアや技術を探求する際、過去の研究や報告書から関連情報を見つけることができます。

■ 法務

関連する法律や規制、過去の判例などの報告書から関連情報を見つけることができます。

TEDの生成AI構築サービスで素早く環境を構築できます

Phase 1 生成AIをまず使ってみる PoC環境構築

OpenAI + 文書検索システム

自社のクローズドな環境

社内文書保存



Azure AI Search

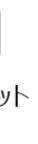


Azure OpenAI

社内文書を検索対象とすることで回答範囲が広がる

OpenAIは学習データを基に推論し、回答を生成

自然言語で情報の探索



チャット

OpenAIが最適情報を生成し回答

Phase 2 お客様ニーズに応えた開発を伴う 本番環境構築

PoCデモ環境の試験運用を経て、フルスペックのWebアプリケーションフレームワークへ移植した環境構築

- ✓ フィードバックからの機能追加
- ✓ 認証やユーザー管理などのお客様個別機能の開発・追加

アプリケーションコード

django



React.js



python



HTML



CSS



JS

+ Azure

※知的財産権の帰属は弊社となりますことご注意ください

- ✓ Azure OpenAI標準の環境構築
- ✓ 汎用Webインターフェースのご提供
- ✓ 社内文書検索機能との連携 (Azure AI Search)
 - ※社内文書 (PDF) をAzureへ手動登録^{*1}
- ✓ 訪問による動作確認とレクチャー
- ✓ お客様による評価結果フィードバック会議への参加
- ✓ 評価中のQA支援 (別途費用、進捗会議への参加)

- ✓ TED独自開発によるWebインターフェースの開発
- ✓ 社内文書自動登録システムの開発
- ✓ PoCで得た改善点から本番環境に向けた機能を追加

例) 検索範囲を限定する

検索エンジン + GPT学習範囲から網羅的に回答する

検索エンジンの情報からのみ回答を得る

GPT学習範囲の情報からのみ回答を得る

例) 認証を強化する、登録文書を自社暗号化鍵で暗号化する等

東京エレクトロニクス

^{*1} 文書の登録は本サービス費用に含まれません

Phase2における独自開発によるWebインターフェース



ようこそ、testさん

チャットメニューを選択

用途に応じて最適なチャットモードをお選びください

一般的な質問 技術サポート

RAG Chat

メニュー選択 新しいチャット

一般的な質問 > ○○について教えてください PDF出力

一般的な質問 > ○○について教えてください

○○については△△です。 [テストドキュメント.pdf \(ページ 3\)](#)

関連する資料として以下もご参照ください：

- 詳細な手順: [操作手順書.docx \(ページ 5\)](#)
- サンプルデータ: [サンプル.xlsx \(ページ 2\)](#)
- プレゼン資料: [説明資料.pptx \(ページ 10\)](#)
- 画面イメージ: [画面例.png](#)
- 詳細説明: [詳細ガイド.html](#)

② 関連する質問

○○を活用した方法はですか？
○○に類似したものはありますか？
○○は安全ですか？

チャットパラメータ メッセージを入力してください...

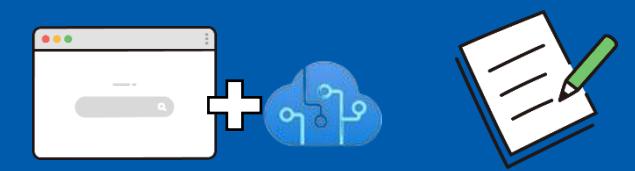
ご要望に応じた機能追加で お客様をサポート



Box/Dropbox/One
Drive上のファイルを検索
対象としたい



ユーザーからの指示に基づいて
アプリケーションから結果を取
得し回答を生成したい



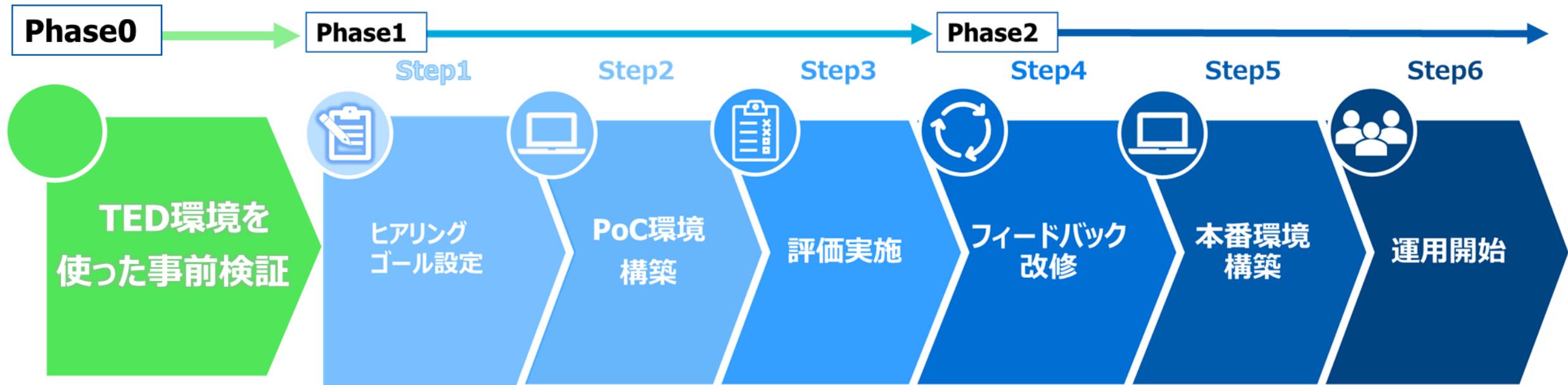
自社独自のプロンプトテンプレー
ト追加や自社ポータルサイトと
OpenAIを連携したい

導入までの流れ

課題の洗い出しから、PoC、運用まで一気通貫でご支援いたします。



- 要件・目標・期待値の確認
- 目標と成功基準を設定
- 検証用Azureサブスクリプションの払い出し
- PoCのための環境を構築
- ユーザー体験、検索効率、安全性など、性能・機能を評価
- 評価結果のフィードバック
- 必要に応じてシステム改修・再評価
- 本番システムの構築
- 運用を開始



- TEDのAOAI環境でまずは生成AIを試してみる
- 社内文書を持ち込み動作を確認

- 要件・目標・期待値の確認
- 目標と成功基準を設定

- 検証用Azureサブスクリプションの払い出し
- PoCのための環境を構築

- ユーザー体験、検索効率、安全性など、性能・機能を評価

- 評価結果のフィードバック
- 必要に応じてシステム改修・再評価

- 本番システムの構築

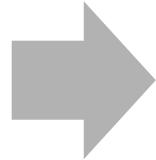
- 運用を開始

テキスト生成AIをいれれば…

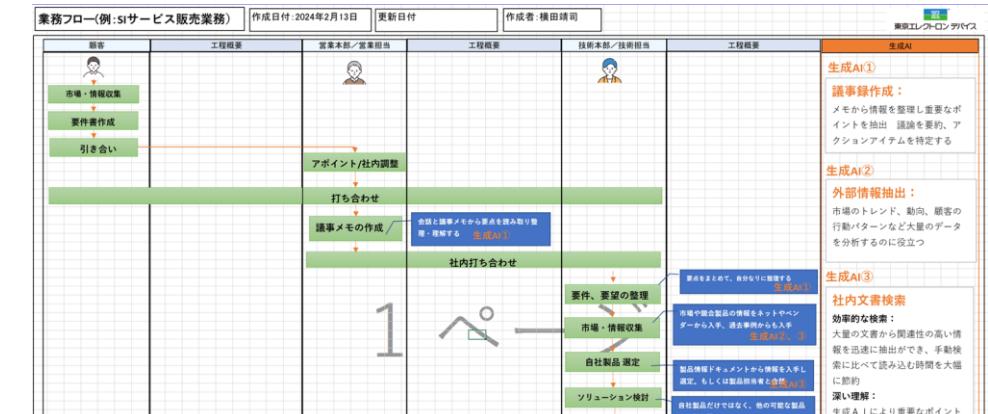
- ・何でもできそう（過度なAIへの期待）
- ・結局何ができるんだろう？
- ・ユースケースは分かったが自社のどの分野に当てはめられそうかイメージがつかない



Azure OpenAI



弊社でAzure OpenAI 導入のご支援をします

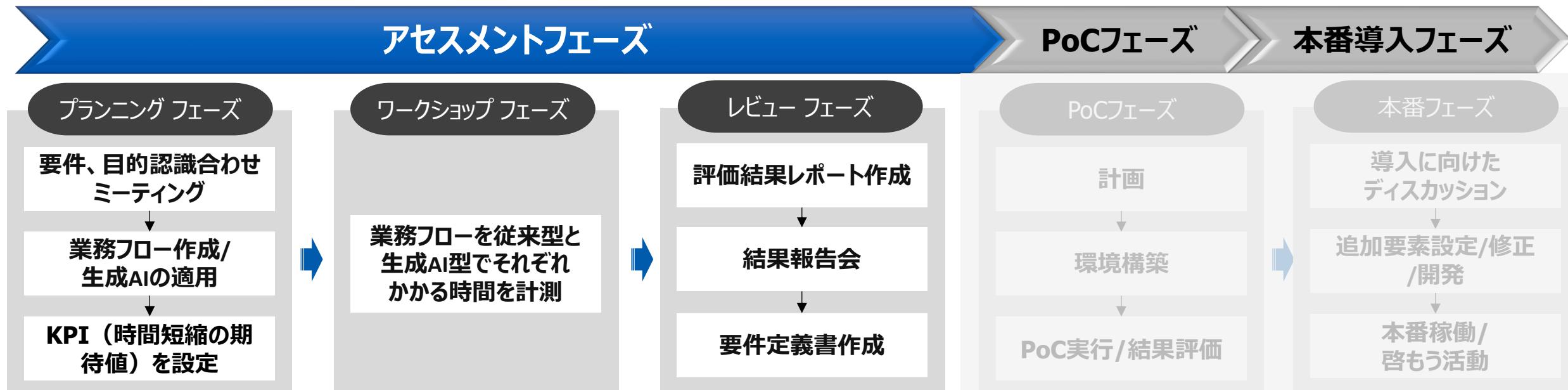


■ サービス名

Azure OpenAI 導入アセスメントサービス

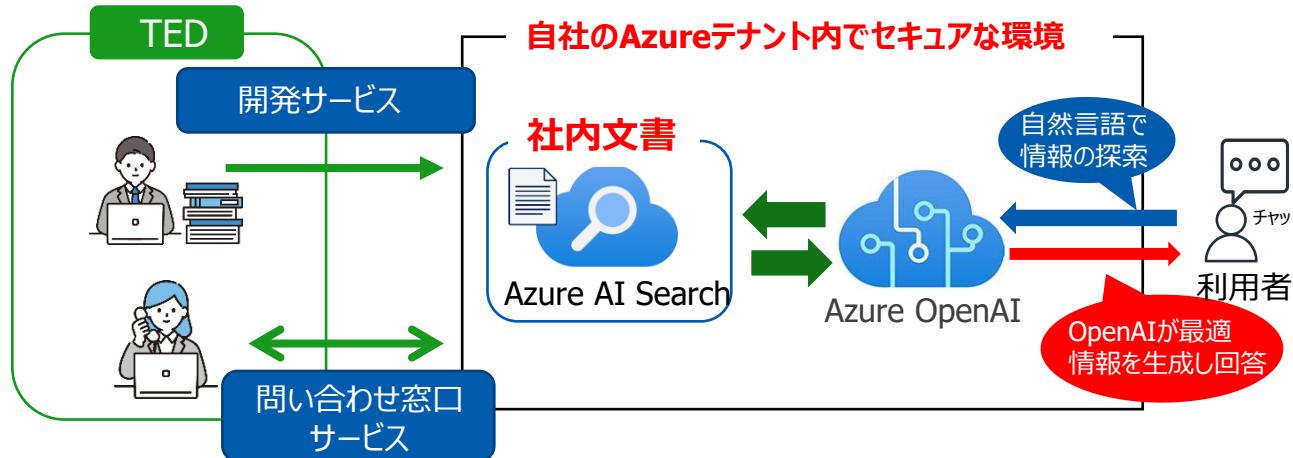
■ サービス概要

お客様の業務にAzure OpenAIを効果的に導入するためのアセスメントサービスをご提供します。PoCと本番導入フェーズに向けヒアリングからフローを作成し既存業務を生成AIに置き換えた場合の効果を数値的に比較します。アセスメントで得た結果をレポートにまとめ報告会を実施します。



Azure OpenAI環境構築以外にも下記のご提案できます。

- 導入後の問い合わせ窓口サービス（ワンストップサービス）
- クラウドに保存した社内文書に対するセキュリティ対策
- 利用者のAOAIへの問い合わせを可視化した著作権違反対策
- クラウドサービスの設定漏れやミスによる社外漏えいを抑制するためのガバナンス対策



Why TED – 選ばれる理由

技術商社・メーカーの強みを生かし
お客様を完全サポート



長年の組込向けOS製品の販売経験を活かし、マイクロソフトAzureを
プラットホームとするクラウドソリューションのご提供をいたします



Azure Specialization
(Azure Virtual Desktop)
Since Jun/2023



● Azure OpenAI実績：20件以上対応済みで現在も30件以上の案件を対応中

- A社：お客様サービスに生成AIを使ったAIコンシェルジュ機能の提供
- B社：社内イントラにあるドキュメントなどの検索にAOAI活用を進めている。TED有償技術支援中。
- C社：製品サポート業務で検討。エラー番号などが表示された際の対応方法を検討中。
TED有償技術支援提案予定。
- D社：生成AI座学およびハンズオン、生成AIを活用したアイデアソンをパートナーと実施予定
- E社：TEDより座学の提供、および顧客独自データの最適化支援の提供開始。
- F社：社内でセキュアに利用できる生成AIの開発。パートナーと共同支援。

● SMBセグメントにおけるAzure OpenAIビジネスについて

- 日本国内におけるAzure OpenAIの対応件数および売り上げNo1（2024年3月10日時点）
※Microsoft社よりの報告
- 2024年5月にMicrosoft社AIカテゴリーにおけるAzure Specializationを取得予定

実績その他：類似プロジェクトの成功事例



項目番	お客様業界	対象プロジェクト	プロジェクト概要	対応期間	対応工数	参画工程
1	マスコミ	マーケティング業務のデータ活用支援とシステム構築	お客様で社外報告が必要なデータ活用の取り組みにおいて、取り組み内容の立案から立ち合い、業務課題のヒアリングを通して要件を整理し、業務で利活用するためのプロトタイプのご提案とシステム開発を実施、構築したシステムを利用したデータ分析業務代行によるレポート報告を実施。	2018年12月～2019年1月	約2人月	要件整理（アセスメント）、要件定義・設計・開発・テスト・分析
2	マスコミ	プランニング業務のデータ活用支援と部分システム構築	お客様で実施するプランニング業務のヒアリングを通して要件を整理し、コンテンツ配置最適化業務で利活用するためのプロトタイプのご提案と、システム化の一部（コアとなるアルゴリズム部分）をご支援。	2019年2月～2019年3月	約2人月	要件整理（アセスメント）、要件定義・設計・開発・テスト
3	マスコミ	マーケティング業務のデータ活用支援とシステム構築	自社データの活用だけではペルソナ作成の精度が上がらないというビジネス課題に対して、外部データを用いた拡大推計のための方法論の確立から、データ分析業務代行による実現可能性の確認とレポート報告を実施。その後、再度別要件を含めてシステム化をご支援。	2020年11月～2021年3月 2022年2月～2022年3月	約5.5人月	要件整理（アセスメント）、要件定義・FS設計・FS開発・FSテスト・FS分析・設計・開発・テスト
4	メーカー	保全業務のデータ活用支援	装置主要部品の保全業務内容ヒアリングや訪問によって装置実機/実部品を観察して、予知保全のための要件をまとめた。また、システム化前のフィジビリティスタディ(FS)による実現可能性の確認を経て、機器取得センサーデータの活用方法をご提案。	2017年8月 2018年2月～3月	約3人月	要件定義・FS設計・FS開発・FSテスト・FS分析
5	メーカー	保全業務のデータ活用支援とシステム化	装置の新規機能拡張というビジネス課題に対して、アジャイルによる課題ヒアリングでお客様が製造する装置の仕組み理解し、システム化前のフィジビリティスタディ(FS)による実現可能性の確認を経て、システム化をご支援。	2016年12月 2017年11月～2018年1月	約8.5人月	要件定義・FS設計・FS開発・FSテスト・FS分析・設計・開発・テスト



パブリッククラウドにおける
ID、PW等のシークレット漏洩を
運用で防ぐIDプローラー

運用管理業務の
削減が図れる

誰がいつどこに
アクセスしたのか
把握できる

アクセスキー自動
発行により、人為的
ミスを防げる

漏洩による影響
範囲を最小限に
することが可能

複数環境に対応
結合管理

結合した集中管理により
運用がシンプルかつ
よりセキュアに

シークレット
自動払い出し

Vaultによる動的なシークレットの払い出しによりセキュリティリスクの低減
人為的ミスを防げる

有効期限付き
シークレット

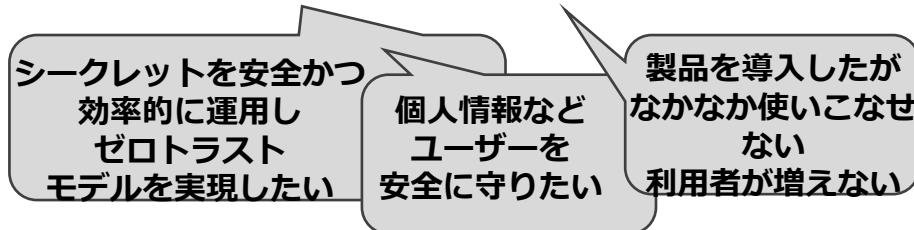
期限付き
シークレットにより
万が一の漏洩も回避

+

+

Vaultによりセキュアな運用と工数削減を実現

【お客様のよくある課題】

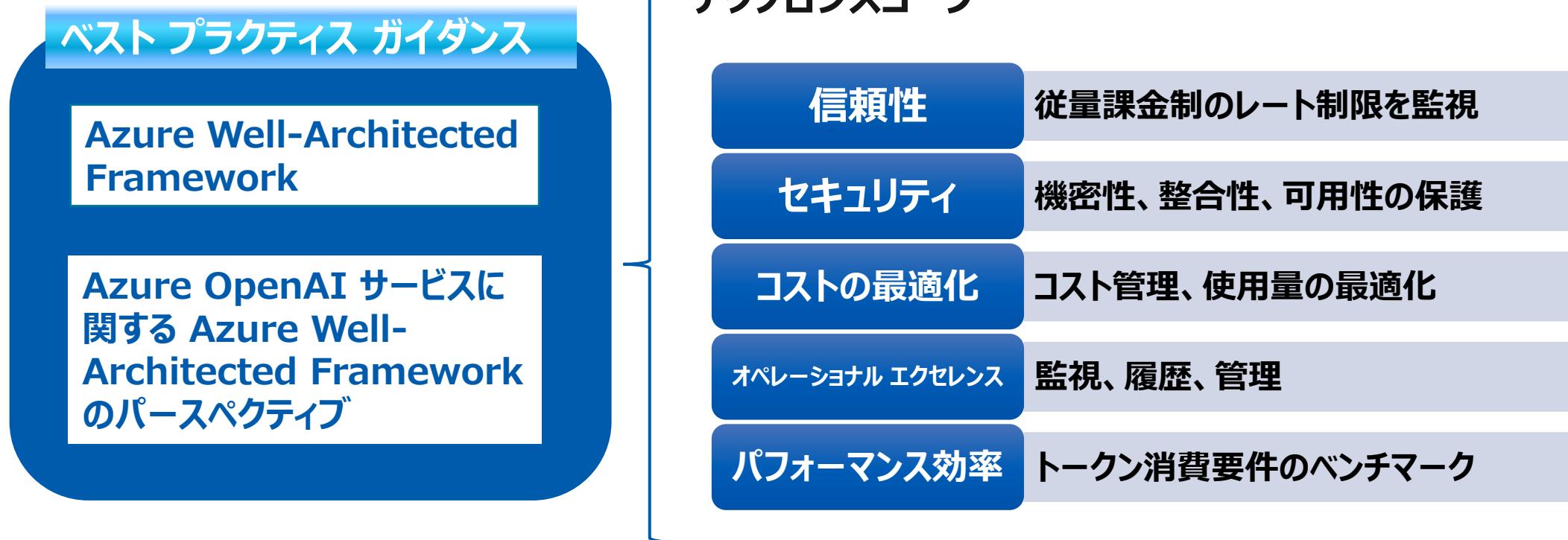


東京エレクトロンデバイスによる
導入支援・利用者の拡大施策まで提供



お客様目線での導入支援・利用者拡大活動までトータル支援

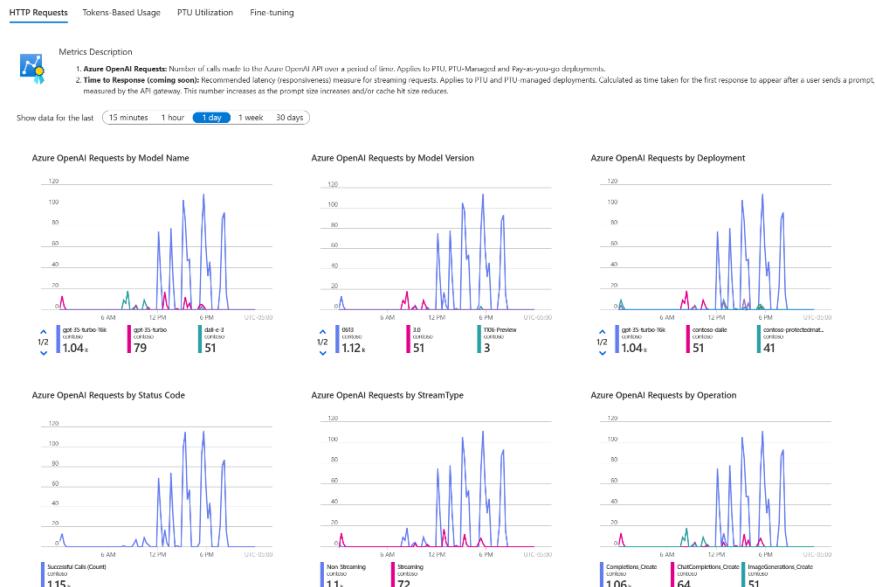
MSのベストプラクティス ガイダンスを使用し貴機構にあったクラウド導入戦略をご提案・設計・構築を行います。



ご参考：附加機能実装イメージ

Connect Beyond

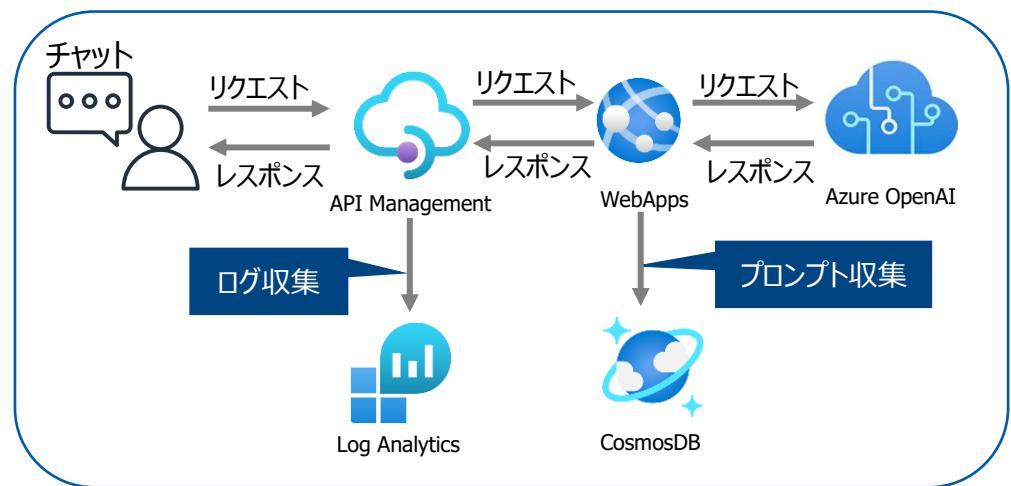
HTTP 要求、トークンベースの使用等の確認



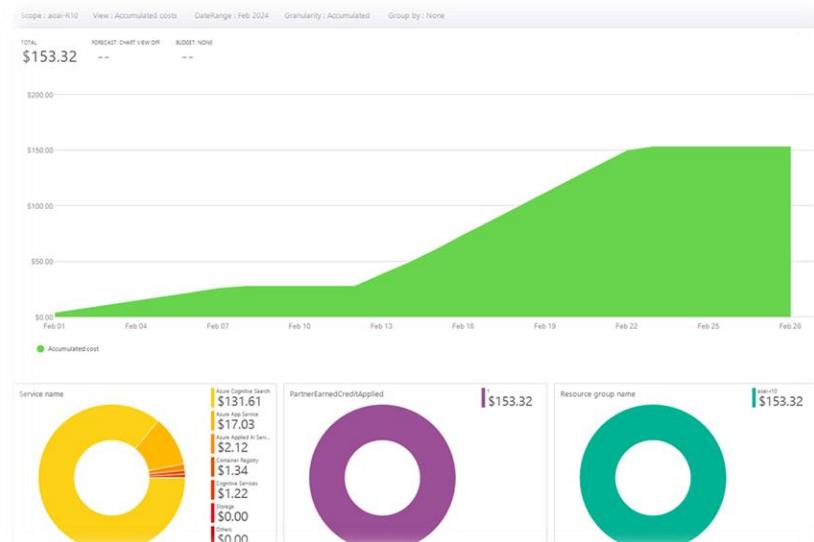
メトリック	説明	Dimensions
Generated Completion Tokens	OpenAI モデルから生成されたトークン（出力）の数。PayGo, PTU, PTU マネージド SKU に適用されます。	ApiName, ModelDeploymentName, ModelName, Region
Processed Inference Tokens	OpenAI モデルで処理された推論トークンの数。プロンプトトークン（入力）+ 生成されたトークンとして計算されます。PayGo, PTU, PTU マネージド SKU に適用されます。	ApiName, ModelDeploymentName, ModelName, Region
Processed Input Tokens	OpenAI モデルで処理されたプロンプトトークン（入力）の合計数。PayGo, PTU, PTU マネージド SKU に適用されます。	ApiName, ModelDeploymentName, ModelName, Region

メトリックから一部抜粋

API Managementを利用したログやプロンプトの収集（監視）



Cost Managementによるコスト監視のメール通知



クラウド上での生成AI環境をはじめとして、3StepでオリジナルGPT環境までご支援

Azure OpenAI 標準環境の構築

- ✓ Azure OpenAI標準環境の構築
- ✓ マネージドサービスすぐに利用

Microsoft Azure
Azure OpenAI



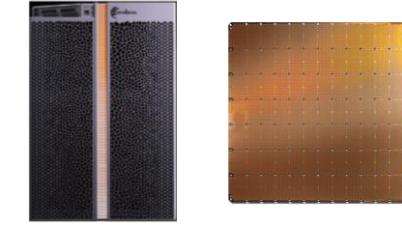
オンプレミスモデル開発支援

- ✓ 独自AI環境の構築
- ✓ オンプレミスハードウェア開発環境の提供
- ✓ 開発環境の為のエンジニアリングサービス
- ✓ モデル開発支援



スケールアウト対応型 オンプレミスモデル開発支援

- ✓ より大掛かりなモデル開発環境の提供
- ✓ GPUを凌ぐ超高速アクセラレータ提供
- ✓ 超高速アクセラレータの時間貸与



AOAIの導入により、以下のような効果が期待できます。

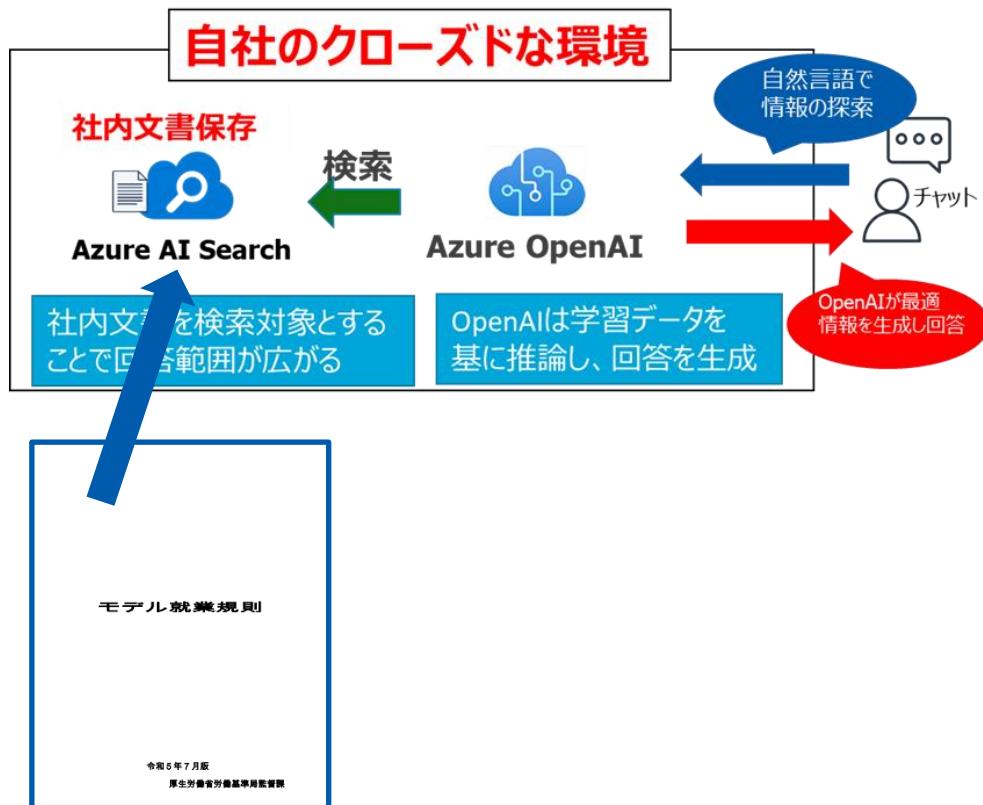
- 効率的な情報検索**: 自然言語での検索により、ユーザーは必要な情報を素早く簡単に見つけ出すことができます。
- 情報活用の向上**: AIが情報を整理し最適な回答を生成するため、より効果的に情報を活用することができます。
- 業務効率の向上**: 情報の検索、理解、要約の時間が短縮されることで、ユーザーは他の重要な業務に集中することができます。
- ユーザーエクスペリエンスの向上**: 対話用Webインターフェースにより、ユーザーは直感的にシステムを操作することができます。

以上のように、**Azure OpenAI+社内文書検索連携システム**は、情報の検索と活用を劇的に改善し、ビジネスの効率と競争力を向上させる強力なツールとなります。

3. Azure OpenAI デモンストレーション

[参考] <https://asashiho.github.io/azure-search-openai-demo/#/?id=main>

文書検索チャットデモ 概要



モデル就業規則ファイル（約90ページ）を
Azure AI Searchに登録済み

モデル就業規則：<https://www.mhlw.go.jp/content/001018385.pdf>

Copyright 2024 TOKYO ELECTRON DEVICE LTD All Rights Reserved.

モデル就業規則の文章はどのような内容を記載しているのか教えてください。



モデル就業規則の文章は、労働者の労働条件や待遇の基準を定めるための規則です。労働時間や賃金、休暇、退職に関する事項など、絶対的に記載しなければならない事項と、各事業場内でルールを定める場合に記載しなければならない相対的な必要事項があります。また、常時使用する労働者の数が301名以上の事業者には、内部規程による規定が義務付けられています。[1](#) [2](#) [3](#)

引用：[1. モデル就業規則-0.pdf](#) [2. モデル就業規則-88.pdf](#) [3. モデル就業規則-21.pdf](#)

労働時間関係には何が記載されているか？



労働時間関係には、以下のような内容が記載されています：

- 始業及び終業の時刻
- 休憩時間
- 休日
- 休暇
- 労働者を2組以上に分けて交替に就業させる場合の就業時転換に関する事項 [1](#)

引用：[1. モデル就業規則-0.pdf](#)

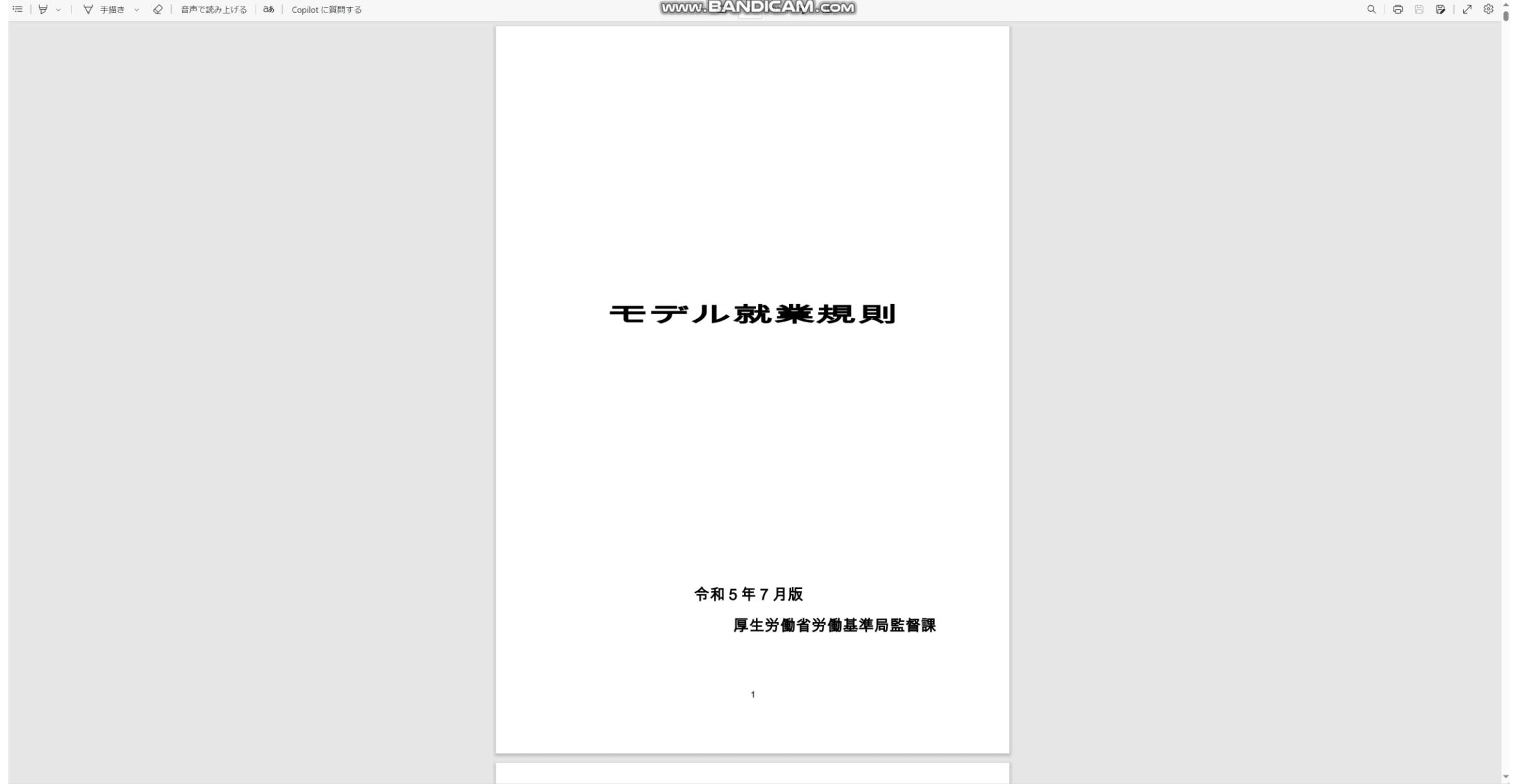
勤続年数が浅い人向けにも受け入れられる就業規則をつくりたい。3つ案を考えて



以下は、勤続年数が浅い人向けにも受け入れられる就業規則の3つの案です。

1. 賞与の支給対象期間の短縮：勤続年数が浅い人にも賞与の支給の対象となる期間を短く設定することで、早期に報酬を受け取ることができます。
2. スキル研修の提供：勤続年数が浅い人に対して、スキル研修の機会を提供することで、能力向上やキャリアの発展を支援します。

東京エレクトロン デバイス



文書検索チャットデモ その2 概要 手書き文章からの検索



会社名 広島会社(株)

出荷伝票
2023/12/10

住所：	郵便番号	出資先：	名前
住所			会社
電話：03-1111-1111			郵便番号
Fax: 03-1111-2222			住所
			電話
注文日：	2004/1/24		
注文番号：	892045	請求先：	名前
注文書：	PO3421-90897-01		会社
顧客連絡：	研究部門		郵便番号
販賣先註定：	3421		住所
			電話

#質問 東京会社向けに出荷した製品は何？

#出力
文書形式

#引用する文書 出荷伝票

#範囲とする年度 2023年



2023年に東京会社向けに出荷された製品は、以下のとおりです。

出荷伝票 :

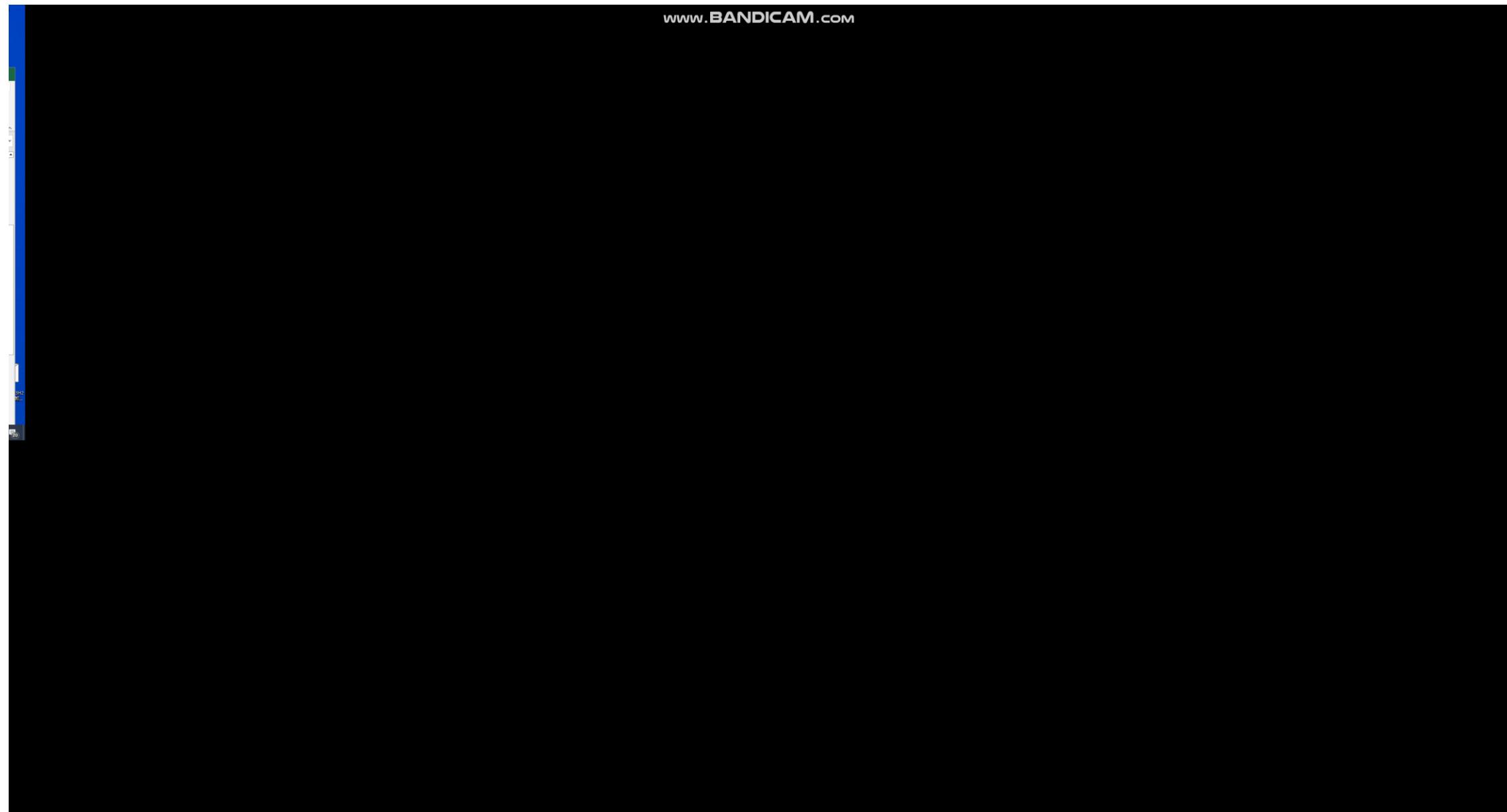
- ・みかん：甘いつ、ユニットタイプA、発注量10万、出荷量5万
 - ・よつさく：フードタイプB、発注量1000、出荷量50

Citations:1. 出荷伝票4-0.pdf

文書検索チャットデモ その2 概要 手書き文章からの検索 デモ動画



www.BANDICAM.com



文書検索チャットデモ その3 更新版文書登録時の動作



x x x 文書リビジョン1_ファイルを登録

この時点のドキュメントではRD接続プローカーサーバーはWindowsServer2012で構築と記載



RD接続プローカーの機能を提供するWindowsServerOSのバージョンは何？

Windows Server 2012のRD接続プローカーは、RD接続プローカーの機能を提供します。 1

Citations: 1. RD_Connection_Broker_Performance_ja-0.pdf



x x x 文書リビジョン2_ファイルを登録

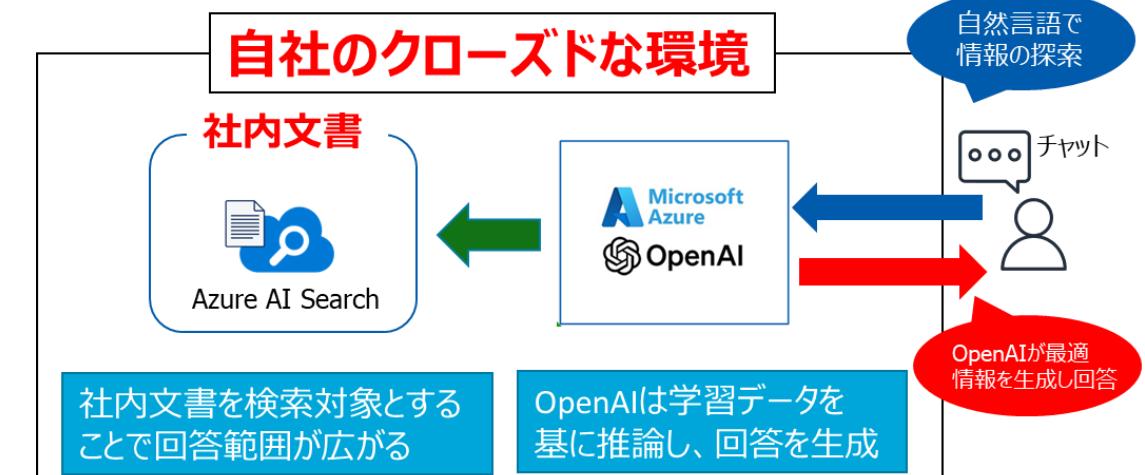
新バージョンではRD接続プローカーサーバーはWindowsServer 2022で構築と更新



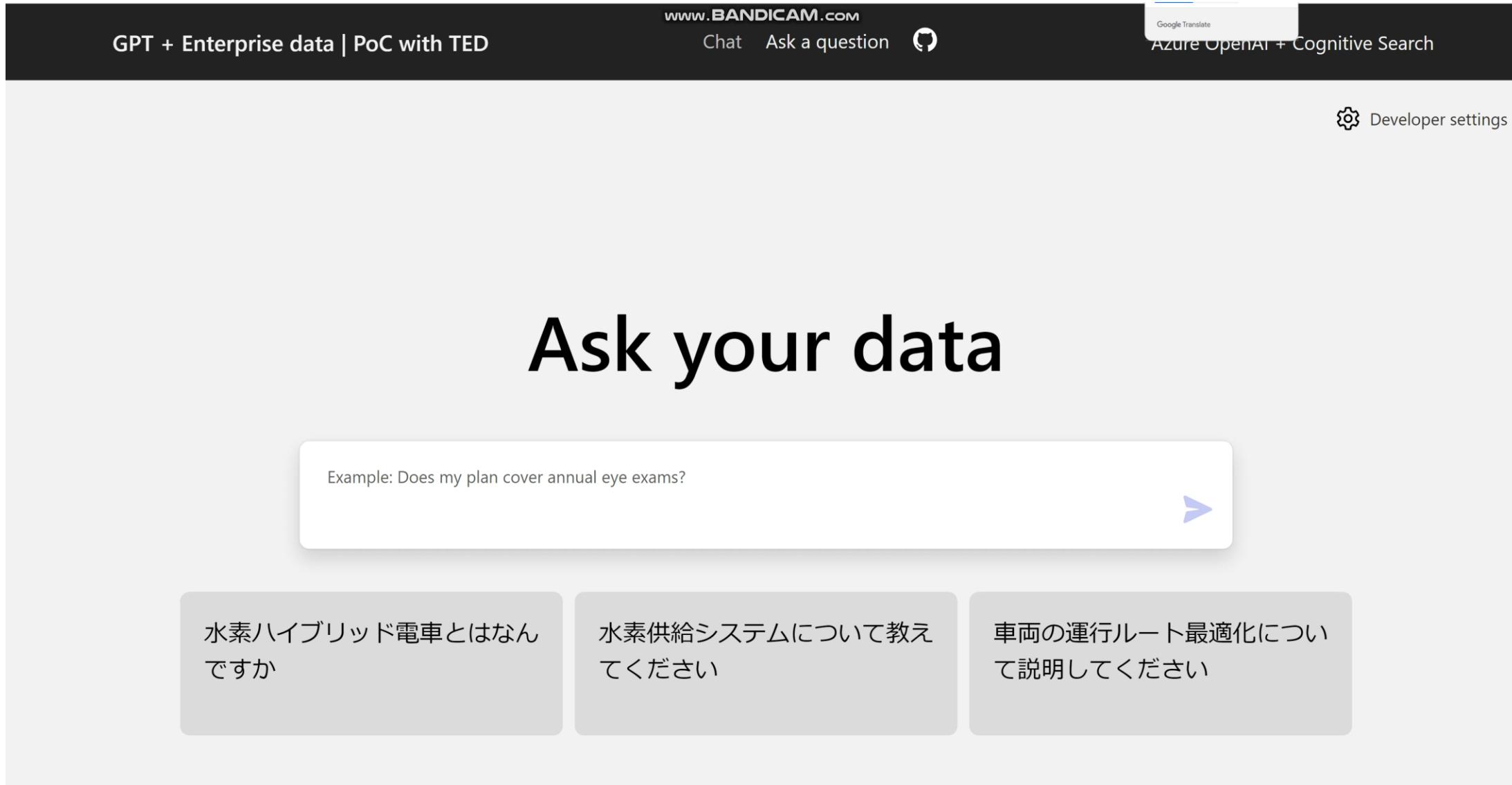
RD接続プローカーの機能を提供するWindowsServerOSのバージョンは何？

Windows Server 2022のRD接続プローカーが提供する機能です。 1

Citations: 1. RD_Connection_Broker_Performance_jaR1-0.pdf



文書リビジョン1_ファイルを登録登録時



The screenshot shows a web-based AI interface. At the top, there's a header bar with the URL www.BANDICAM.com, navigation links for Chat, Ask a question, and a search icon, and a note about using GPT + Enterprise data | PoC with TED. To the right of the header are buttons for Google Translate and Azure OpenAI + Cognitive Search, along with a Developer settings link. The main area features a large, bold title "Ask your data". Below it is a text input field containing the placeholder "Example: Does my plan cover annual eye exams?" with a blue arrow button to its right. At the bottom, there are three gray rectangular boxes with Japanese text: "水素ハイブリッド電車とはなんですか", "水素供給システムについて教えてください", and "車両の運行ルート最適化について説明してください".

www.BANDICAM.com

Chat Ask a question

GPT + Enterprise data | PoC with TED

Google Translate

Azure OpenAI + Cognitive Search

Developer settings

Ask your data

Example: Does my plan cover annual eye exams?

>

水素ハイブリッド電車とはなんですか

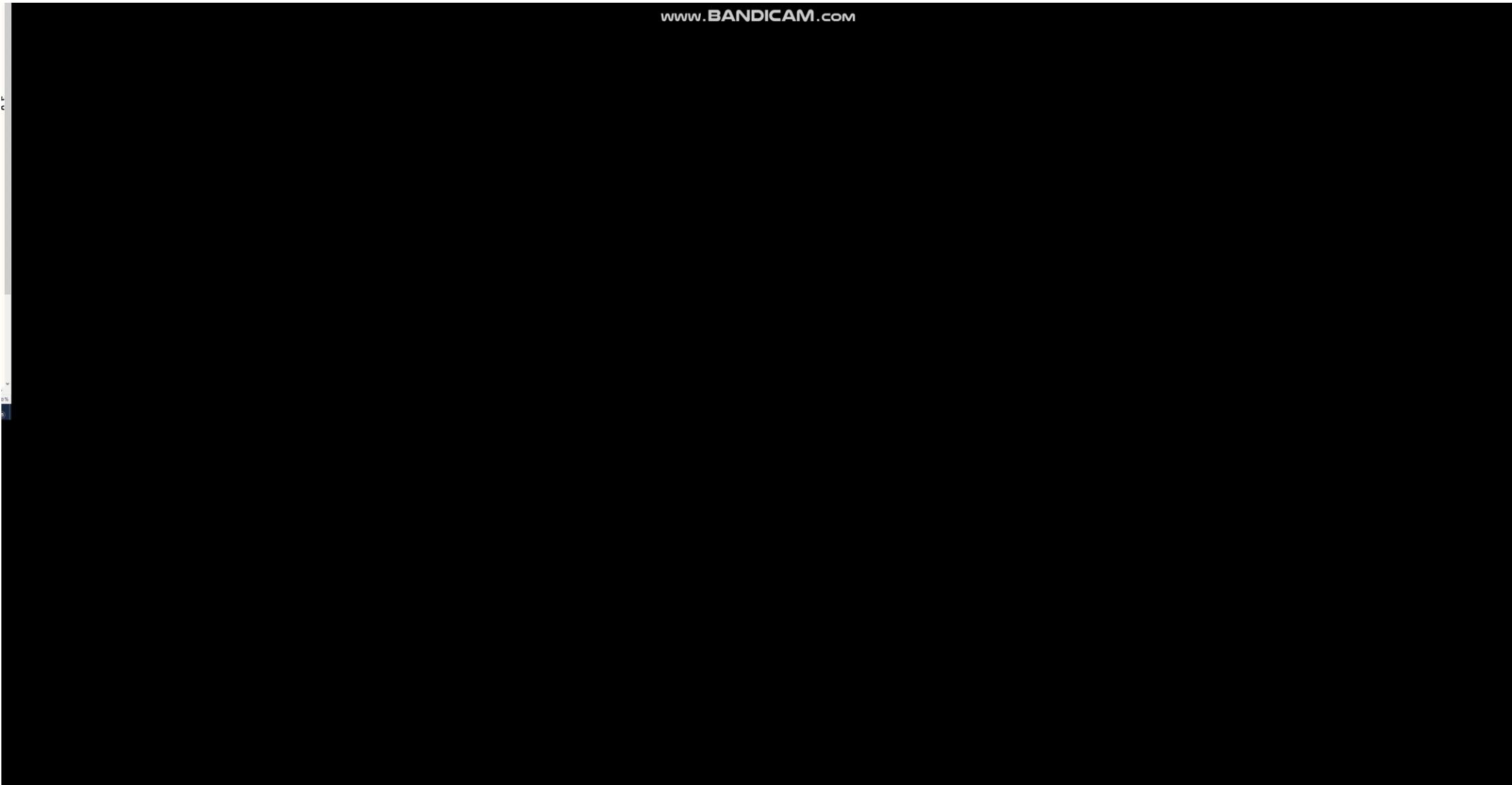
水素供給システムについて教えてください

車両の運行ルート最適化について説明してください

文書検索チャットデモ その3 更新版文書登録時の動作



文書リビジョン2_ファイルを登録登録時





共に創る 新たな価値を

「Connect Beyond」は、ステークホルダーの皆さまの期待と信頼に応えるため、あらゆる既成概念を超えて、皆さんと共に新たな価値の創造に挑戦するという私たちの姿勢を表しています。